

【2021年度実技入試問題】

台の上に置かれているものを鉛筆でデッサンしなさい。

※ 台の上に見える陰影も描いてください。

画用紙F8号 (時間90分)

<注意点>

- ・画用紙の使用はタテ・ヨコ自由。イーゼルの高さや位置は少し変えてもよい。
- ・ほぼ実物大に描き、モチーフの中にある陰や台に映った影も入れる。
- ・使用する鉛筆の種類や本数に制限はない。

<解説>

試験は中央に置いた低めの台にモチーフを置き、その周りに4、5人の受験生が囲む例年通りの形式である。受験生はイーゼルを使用するが、どこに座っても有利不利がないように座席には配慮した。

出題したモチーフは、基本的な形態であること、普段よく目にするものを軸に選定した。今年度は、基本形が直方体である容器、角材、球体である紙風船、正方形の色紙の組み合わせである。紙風船は、中心軸を意識して対称であること、容器や角材は、高さや丈を表現するために手前と奥の辺の長さが変化することを理解できていれば、正確な形をとることができるであろう。同一平面上に配置されているという認識を持って陰影をつけることも必要である。また、鉛筆の濃さやタッチを変えることで材質の違いを描き分けることも臨場感、存在感を表現するためには欠かせない。色の明度の差を理解し濃淡を的確につけたり、容器に映りこむ紙風船や色紙を丁寧に、粘り強く描き込んだりする受験生が多かった。

<採点の基準>

- ・モチーフをよく観察し、理解できているか。
- ・立体感や空間の表現ができているか。
- ・最後まできちんと描こうと努力しているか。

デッサンの練習をしたら、学校の美術科の先生などに講評していただくことをお勧めします。

